

令和5年度

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
空気調和設備	2単位	3	必修	設備工業科

1 科目の目標

空気調和設備に関する基礎的な知識や理論を習得させ、空調方式について学習する

2 教科書

空気調和設備（東京電気大学出版社）

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	空気調和設備に関する諸問題について関心を持ち、また、意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。	出席状況、学習態度（服装、教科書ノート）提出物
思考・判断	空気調和設備に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。	ペーパーテスト（計算力、思考力）
技術・表現	空気調和設備に関する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	ペーパーテスト（表現力、思考力）
知識・理解	社会における空気調和設備の意義や役割を理解し、それに関する基礎的な知識を身につけている。	レポート発表における表現力や文章力

4 評価の方法

各教科の評価は1, 2学期が100点法（素点）、3学期が5段階評価で出される。
 評価の規準としては、定期考査（中間考査・期末考査）、臨時考査（小テスト等）、提出物（ノート、課題プリント等）、日々の授業態度や出席状況をみます。

定期テスト60%	出席20%	態度・提出物20%
----------	-------	-----------

評価記載方法 ・100点法 ・5段階評価	評価内容	100点法	5段階評価
	特に高い程度	100-80	5
	上と中の中間	79-65	4
	ほぼ達成	64-50	3
	中と下の中間	49-35	2
	特に不十分	34-0	1

4. 年間指導計画表

学 期	月	時 間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学 期	4 5 6 7	26	第3章換気・排煙装置 第1節 換気設備の設計	・換気方式のそれぞれの特徴について理解し説明できる。(自然換気、機械換気) ・換気をすることの意義について理解し、実践的に活用できている。	・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
1学期の評価方法				定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	
2 学 期	9	8	第3章換気・排煙装置 第2節 換気設備の計画	・換気設備の設計法について、基本的なことを理解し意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
	10 11	16	第4章 直接暖房装置 第1節 主な機器と構成	・暖房装置を構成する主要機器についての基礎的知識や技術を習得し説明することができる。	
	12	8	第4章 直接暖房装置 第2節 装置の設計及び配管	・直接暖房についてのシステム・原理を理解し知識や技術を習得し取扱いができる。	
2学期の評価方法				定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	
3 学 期	1 2	12	第5章 空気調和設備の施工	・空気調和設備施工について理解し、建築物との関連性を踏まえて、取り扱うことができる。	・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
3学期の評価方法				定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	